



平成 30 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 鉄 建 建 設 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 林 康 雄
(コード番号 1815 東証第 1 部)
問 合 せ 先 経 営 戦 略 室 経 営 企 画 部 長 猪 塚 武 志
(TEL 03-3221-2141)

「中期経営計画 2018～2020」の策定について

この度当社は、2018 年度から 2020 年度の 3 ヶ年を対象とする「中期経営計画 2018～2020 変革に挑戦し、企業価値を高め、業績の飛躍的な向上をめざす」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、2015 年度に「中期経営計画（2015～2017）～信用と技術を基本に 業績の飛躍的な向上を目指す～」を策定し、さまざまな戦略に取り組み、その結果多くの成果をあげ、さらなる成長につなげることができました。しかしながら、今後建設業界では、働き方改革の推進や I C T 技術を活用した生産性の向上、ますます増加する維持修繕工事やグローバル化などに対応する積極的な取組が求められます。

当社を取り巻く経営環境がこのように多様な変化を迎える中で、経営課題をしっかりと認識し、お客さまの安心、満足度を高めていけるよう、新たな中期経営計画に取り組み、当社のさらなる発展に向けた変革への挑戦の第一歩としたいと考えていますので、ステークホルダーの皆さまの今後一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【新中期経営計画概要】

- | | |
|---------------|--|
| 1. 計画期間 | 2018 年度～2020 年度 |
| 2. 経営目標 | 変革に挑戦し、企業価値を高め、業績の飛躍的な向上をめざす 2020 年度 連結売上高 1,860 億円、連結営業利益 93 億円 |
| 3. 目標達成に向けた方針 | ①安全・安心の追求 ②筋肉質な経営の推進 ③技術力を核とした現場力・企業力の飛躍的向上 ④人間尊重企業をめざして ⑤さらなる成長への挑戦 |

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上



鉄建建設株式会社

中期経営計画 2018～2020

変革に挑戦し、企業価値を高め、業績の飛躍的な向上をめざす



取組の成果

- 過去の重大事故の風化防止と安全レベルの向上
- 品質の向上によるトラブルの防止とお客さま満足度の向上
- 選別受注と原価管理の徹底による着実な利益の確保
- 株主資本の増強と有利子負債の削減による経営基盤の強化
- 現場の技術力と業務推進力の強化による現場力の充実
- エンジニアリング力と技術開発の強化による技術競争力の向上
- 営業力の強化による安定した受注の確保
- 海外事業への積極的な挑戦
- 広報部門の充実による社内外のコミュニケーション向上
- 多様な人材の採用と研修制度の拡充による人材育成の強化
- 処遇の向上による社員のモチベーションアップ
- ワークライフバランスやダイバーシティ施策への対応

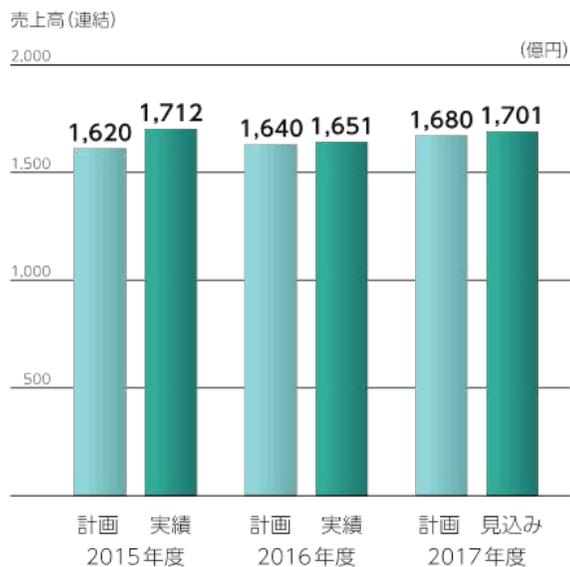
2 「中期経営計画（2015～2017）」の振り返り（業績）



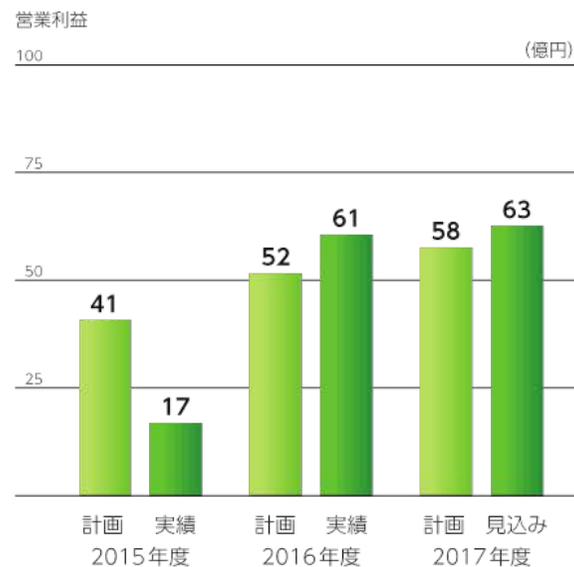
「基礎体力」の強化、「技術力を核とした企業力」の強化、「人材力」の強化、という3つの戦略に積極的に取り組むことにより、おおむね計画を達成することができました。

経営数値の目標と実績（連結）

売上高



営業利益

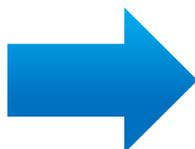


社会・経済の動向

- ◆ 少子高齢化の進展
- ◆ 第4次産業革命がもたらす産業構造の変化 (IoT・AIの活用)
- ◆ 働き方改革の実現 (生産性向上、労働時間短縮、ダイバーシティ等)

建設業を取り巻く情勢

- ◆ 建設投資から維持修繕投資へのシフトチェンジ
- ◆ 世界的なインフラ需要の拡大
- ◆ 建設就業者数の減少、高齢化に伴う担い手不足
- ◆ 慢性的な長時間労働からの脱却
- ◆ 経営の多角化 (建設請負業以外の拡大)



当社の経営課題

- ◆ 安全マネジメントの向上によるさらなる信頼の獲得
- ◆ 品質確保による顧客満足度の向上
- ◆ コスト競争力強化による安定的な利益確保
- ◆ ICT技術等を活用した業務の省力化・効率化による生産性の向上
- ◆ 鉄建グループの連携強化
- ◆ 技術力、提案力強化による営業力向上
- ◆ 技術開発の拡大に伴う競争力強化
- ◆ 労働時間短縮をはじめとする働き方改革の実現
- ◆ 次代を担う人材の採用・育成による企業力の向上
- ◆ 社会への貢献拡大に伴う企業ブランドの向上
- ◆ 海外事業推進へ向けたさらなる展開
- ◆ 建設業に続く第2の収益の柱の創出

鉄建建設は、「社是」である『信用と技術』で社会に貢献する企業であり続けたいと願っています。過去9年間の中期経営計画において示してきた「めざす企業の姿」は「経営理念」に基づいた普遍的なものであり、本中期経営計画でも変わることなくめざし続けるものとしします。

社是

『信用と技術』

経営理念

わが社は **信用と技術** を基本として
お客さまに喜んでいただける **安全で良質な**
社会基盤を創造することを通じて
社会の繁栄に貢献 するとともに
持続的に成長し家族に誇れる
働きがいのある企業 をめざします

めざす企業の姿

「お客さまに喜んでいただける企業」
「社会に貢献できる企業」
「家族に誇れる働きがいのある企業」

経営目標

変革に挑戦し、企業価値を高め、業績の飛躍的な向上をめざす

- ◆ 予測される経営環境の変化を認識し、問題解決に向けた変革に取り組みます
- ◆ 企業力をさらに強化し、お客さまからの信頼を高めていきます
- ◆ 企業活動を通じて社会に貢献するとともに、業績の飛躍的な向上をめざします

経営目標達成に向けた方針

- 方針1** 安全・安心の追求
- 方針2** 筋肉質な経営の推進
- 方針3** 技術力を核とした現場力・企業力の飛躍的な向上
- 方針4** 人間尊重企業をめざして
- 方針5** さらなる成長への挑戦



6 経営数値の目標(2018~2020 連結)

当社を取り巻く経営環境が大きく変化しても、経営課題をしっかりと認識し、力強くグループ全体が発展し、お客さまの満足度を高めていけるように、今後3年間の目標設定をいたしました。これらの目標をしっかりと認識し、5つの方針に取り組みます。

売上



営業利益



方針1:安全・安心の追求

戦略1-1 「安全最優先の企業体質」を強化してお客さまの安全・安心を高めます

- ◆これまで経験した重大事故・災害の対策の徹底と風化防止
- ◆本支店の安全部門の組織強化と施工管理部門との連携強化
- ◆協力会社も含めた安全を担う人材育成の充実
- ◆作業リスクの低減や鉄道工事のヒューマンエラーを防止する技術開発の取組

戦略1-2 品質管理のさらなる徹底を図り、顧客満足度を向上します

- ◆品質向上をめざした施工方法やプロセス管理を推進
- ◆実体験型施設を活用した見て触れる教育の実施による品質意識向上
- ◆本社・支店・現場が一体となった組織的な品質向上活動の実施

戦略1-3 低炭素社会に向けた取組等、環境を重視した経営を行います

- ◆バイオマスガス発電や小水力発電などの環境負荷低減技術の実用化を促進
- ◆施工時の周辺環境負荷や建設副産物を低減する技術の活用と推進
- ◆当社保有技術のレンズダンパー工法、AWAT工法の採用による建物の長寿命化

方針2:筋肉質な経営の推進

戦略2-1

コスト競争力を高め安定的な利益を確保します

- ◆本支店一体となった受注から施工まで一貫した原価管理の徹底や選別受注の実施
- ◆テッケン興産と連携した集中購買拡大によるコストダウンの強化
- ◆事前調査情報の発注者との共有化により工程遅延リスク低減および原価トラブル防止

戦略2-2

業務の省力化・効率化により生産性の向上を図ります

- ◆ICTや機械化施工技術等の省力化技術の活用促進
- ◆施工ソフトやIoTの活用による現場管理能力の向上
- ◆外部社員活用や施工記録整理等のアウトソーシングによる業務の効率化
- ◆社内文書の削減と標準化、お客さまとの連携による事務処理の簡素化

戦略2-3

堅実性と積極性を兼ね備えた財務戦略により強固な経営基盤を構築します

- ◆安定的な利益の確保による株主資本のさらなる充実
- ◆財務健全性を維持しながら安定した株主への利益還元
- ◆将来に向けた成長戦略への積極的投資

戦略2-4

鉄建グループのさらなる発展をめざします

- ◆協力会社の人材育成の充実および鉄和会の連携強化
- ◆協力会社の業務範囲を拡大、業務分担の見直しによるグループのレベルアップ
- ◆グループ会社のさらなる事業拡大・強化を推進

方針3:技術力を核とした現場力・企業力の飛躍的向上

戦略3-1 お客様のニーズに応える提案力・営業力・設計力の強化により安定した受注を確保します

- ◆ ニーズにあった提案によるプロジェクトの推進と設計施工の拡大
- ◆ 柔軟かつスピーディな対応による継続的に発注いただけるお客様の維持・拡大
- ◆ 多様な発注方式へ対応できる提案力強化や重点分野を定めた営業体制の拡充

戦略3-2 エンジニアリング力・技術開発の飛躍的向上により技術競争力を高めます

- ◆ 技術部門の体制強化、現場との連携強化による効果的な技術開発の実施
- ◆ CIM/BIMの活用による提案力の強化、施工計画の効率化による技術競争力の向上
- ◆ 維持修繕分野・超高層建築への注力による技術競争力の強化
- ◆ ジェイテックのさらなる組織強化と次世代主力商品の開発

戦略3-3 鉄道工事のトップランナーとしてまい進します

- ◆ 調査計画段階からのプロジェクト提案による、より短期間で経済的な施工の実現
- ◆ 鉄道特有の作業条件緩和につながる、プレキャスト化をはじめとする新しい技術の開発
- ◆ 「鉄道CIM」の積極的な活用による仕事の進め方の再構築
- ◆ 線路上空および高架下開発に寄与する技術開発の推進

方針4:人間尊重企業をめざして

- 戦略4-1 働き方改革を推進し、いきいきした職場、働きやすい環境を実現します**
- ◆4週8閉所アクションプログラムの実行による協力会社を含めた長時間労働の是正と休日確保
 - ◆ダイバーシティ施策の積極的な推進による、女性をはじめ全社員が活躍できる職場づくり
 - ◆社内コミュニケーションの拡充やクラブ活動の推進による職場の活性化
- 戦略4-2 人材の確保と育成を強化し、将来を担う人づくりに取り組みます**
- ◆新卒・社会人採用の増加をめざした積極的な採用活動の実施
 - ◆キャリアパスに応じた研修制度等の充実およびOJTによる技術継承の実施
 - ◆モチベーションを高める処遇の向上や新しい評価視点を盛り込む表彰制度の新設
- 戦略4-3 社会に貢献し、企業ブランドを高めます**
- ◆CSR活動を実践し地域社会に貢献する取組の実施
 - ◆IR活動、広報活動などのコーポレートコミュニケーションの充実

方針5:さらなる成長への挑戦

戦略5-1 海外事業の拡大と体制の強化を行います

- ◆海外工事技術者や事業支援を行う専門家の確保・養成と事業体制の強化
- ◆アジアを中心とした活動拠点での案件情報、地域情報の収集力強化と現地企業との連携強化
- ◆アジアを中心とした高速鉄道、道路、MRTなどのインフラ整備事業への積極的な参加

戦略5-2 不動産事業の積極的な展開と収益の向上を行います

- ◆不動産事業の強化に向けた新体制の整備と新たな事業化の支援
- ◆保有不動産の有効活用の促進および賃貸事業の収益力の強化
- ◆開発・バリューアッド事業への取組による収益分野の拡大

戦略5-3 新たな企業価値の創造を積極的に行い、幅広い分野から収益を確保します

- ◆新規事業(コンセッション事業、PPP/PFI事業、農業等)への参入検討と実施